

# 楯中通信

令和2年  
3月27日  
発行

## 前へ～ 15代目卒業～



3月16日(月)に、本校第15回卒業証書授与式を挙りました。皆さんもご承知のとおり、国や県の要請に応え、式は縮小(在校生と来賓は不参加、飛沫感染予防のために式歌なし)して実施しました。今年度の卒業生は137名で、保護者と教職員で心をこめて送り出しました。校長式辞では、卒業生が残してくれた文化面、運動面のこれまでの輝かしい足跡を褒め讃え、近未来づくりに進んで関わってほしいという願いを伝えました。その一部を掲載します。

地球よりも重いものがあります。私たちが生活しているこの地球よりも重いものがあります。それは、「人の命」です。「みなさんの命であり、私たちの命」です。2月27日、国は子どもの安全・安心を第一に考え、3月2日より学校を臨時休業にするよう各自治体に要請しました。それを受けて本校では臨時休業を実施し、本日の卒業証書授与式を縮小して挙行することにしました。・・・想定外の出来事はこれからも起こるかもしれません。そして、みなさんが向かう未来社会は予測不可能な社会かもしれません。だからこそ、本校で学び、身につけた力で、未来をたくましく生き抜いてほしいと願っています。そこで私は3つの力が大事になってくると思います。

1つ目は、「**学び続ける力**」です。これからどんな社会が待っていても、自立して生きていかなければなりません。そのためには、幅広い学力と教養を身に付け、自分の能力を最大限に発揮するよう努めなければなりません。自分を生かすためにも、「**学び続け**」なければならないのです。

2つ目は、「**コミュニケーション能力**」です。私たちは一人では生きていけません。自分が生かされていることに感謝し、他を思いやれる温もりにあふれた誠実な人になってほしいと願っています。

3つ目は、「**社会に貢献する力**」です。ふるさとを愛し、ふるさとのために尽くそうとする人になってほしいと願っています。

・・・生きやすい社会をつくるために科学はますます進歩します。でもそれを創り支えるのは「**ヒトの力**」です。これからも「**ヒト**」は困難に対して、果敢に挑戦し、乗り越えていきます。そして、近未来を創るのは若いみなさんの世代です。だからこそ、みなさんには進んで「**時代づくり**」に関わってほしいと強く望みます。・・・私もみなさんと一緒に本校を卒業します。

(文責 校長)

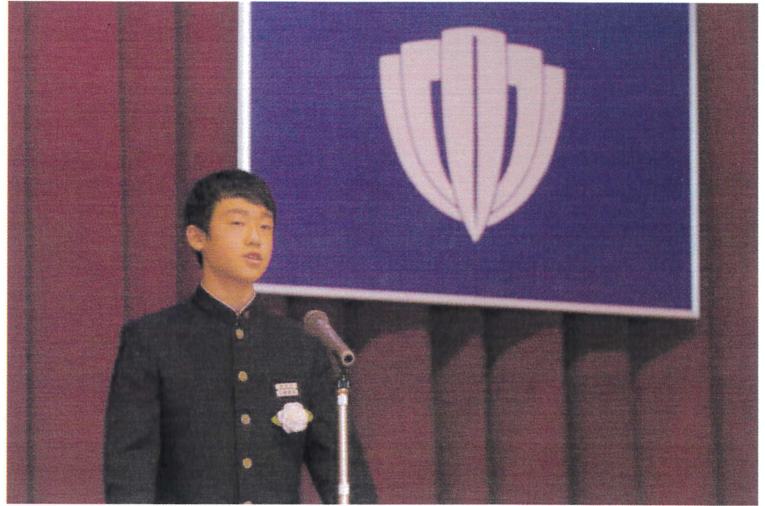


卒業式では、生徒会前会長の工藤重成さんが「卒業生代表のことば」を述べました。生徒会副会長、竹村育穂さんの「在校生代表のことば」は、式しおりの中に全文を印刷して、卒業生と保護者の皆様に配りました。ここではそれらの一部を掲載します。

## 卒業生代表のことば

春の光がやさしく降り注ぐ今日、僕たちは楯岡中学校を卒業します。臨時休業のなか、正直「卒業」の実感もないまま、今日を迎えました。しかし、中学校に入り、美しい校舎、色とりどりの装飾、そして、ただ今、校長先生から温かいお祝いのことばをいただき、胸が熱くなりました。そして、このステージから仲間たちの表情を見て、今、「卒業」ということを心から実感しています。(中略)

最高学年となった今年は、各行事で学校全体を引っ張りました。運動会では、全体が思うように動いてくれないもどかしさを感じながらも、どうやったら上手くいくかを三年生全員で考え、実行しました。文化祭では、意見が食い違うこともありましたが、話し合いや練習を通して、クラス、学年の気持ちが一つになり、歌声を響かせることができました。・・・辛いこともありましたが、それをみんなで乗り越え、僕たちは心も体も成長することができました。・・・(先生方と保護者に感謝する文面が続きます)・・・137人の仲間たち、時には意見がぶつかることもあったけれど、みんなで創り上げてきたもの全てがかけがえのない僕たちの思い出です。みんなと最後に話す時間は少なかったけれど、きっと、この卒業式も僕たちが大人になった時は、貴重な思い出になっていると思います。今日で楯岡中学校での生活は終わりになりますが、それは、新たなスタートでもあります。それぞれの道で、邁進し、互いに成長していきましょう。



## 在校生代表のことば



大地が淡い緑に色づきはじめ、ここ村山の地にも、再び生命のみなぎる季節が訪れようとしています。・・・(5月の生徒総会、ボランティア活動、8月の運動会、11月の文化祭、部活動と卒業生の姿を見て、また一緒に活動して、後輩がとても誇らしい気持ちになったこと。そして後輩のよき手本になったことが熱く書かれています)・・・先輩方が築いてくださった伝統は、かけがえのないものです。私たちはこれらを受け継ぎ、楯岡中学校をより良い学校へ高めるために何

ができるかを考え、実行していきます。・・・先輩方の強い絆さえあれば、どんな荒波も超えていけるはずです。どうぞ、未来に向かって、力強く進んでいってください。



# 卒業証書授与式から

